

## プログラム

1日目 (8月11日 土曜日)		
開始時刻	終了時刻	講義名
10:00	- 10:30	イントロダクションおよび事前問題 (30分)
10:30	- 10:45	がんゲノム医療の提供体制について (15分) 向井 洋介 (厚生労働省)
10:45	- 11:45	がんの生物学・分子生物学の基礎知識 (60分) 大木 理恵子 (国立がん研究センター研究所)
11:45	- 12:45	<昼 食 (60分)>
12:45	- 13:45	ゲノム医療で使用される用語の説明 (60分) 西尾 和人 (近畿大学)
13:45	- 14:45	ドライバー遺伝子変化と分子標的薬 (60分) 大江 裕一郎 (国立がん研究センター中央病院)
14:45	- 14:55	<休 憩 (10分)>
14:55	- 15:55	遺伝医学、遺伝性腫瘍 (60分) 櫻井 晃洋 (札幌医科大学)
15:55	- 16:25	遺伝子検査 (30分) 坂井 和子 (近畿大学)
16:25	- 16:35	<休 憩 (10分)>
16:35	- 17:05	遺伝子変化の臨床的意義に関するエビデンスレベル (30分) 武田 真幸 (近畿大学医学部)
17:05	- 17:35	遺伝子パネル検査結果の活用方法 (30分) 高橋 秀明 (国立がん研究センター東病院)
17:35	- 18:35	遺伝子パネル検査におけるレポートの作業手順と読み方 (キュレーション・アノテーション) (60分) 西原 広史 (慶應義塾大学)
2日目 (8月12日 日曜日)		
09:30	- 10:30	患者さん、被検者の方々とのコミュニケーションのあり方を考える (60分) 田村 智英子 (FMC 東京クリニック)
10:30	- 11:30	医療倫理と個人情報保護 (60分) 武藤 香織 (東京大学医科学研究所)
11:30	- 12:30	<昼 食 (60分)>
12:30	- 13:00	がんゲノム医療コーディネーターCGMCが行う業務内容について (30分) 武田 祐子 (慶應義塾大学)
13:00	- 15:00	事例検討 (120分) 武田 祐子 (慶應義塾大学)
15:00	- 15:30	事後評価及びアンケート (30分)

主 催：日本臨床腫瘍学会

協力学会：日本遺伝看護学会，日本癌学会，がん看護学会，日本癌治療学会，  
日本人類遺伝学会，日本臨床衛生検査技師会，日本臨床腫瘍薬学会（五十音順）